

私の学術研究の原点

高橋 輝和さん(66)



岡山大学名誉教授、岡山市在住。霞町出身

丸亀を離れてからはほぼ半世紀の歳月が経ちました。近年は帰郷する機会がほとんどなくなり、書齋では丸亀のかわりが続いています。私は岡山大学の文学部と大学院で30年間、ドイツ言語文化論の講座を担当し、ドイツ・ゲルマン語学と蘭学・洋学史の研究に加え、丸亀ドイツ兵俘虜収容所の研究にもかかわってきました。

第一次世界大戦時の丸亀に、324人(最終的に333人)のドイツ兵俘虜が2年5か月の間収容されていたことは、よく知られています。丸亀で特記すべきは、収容所管理部のみならず、地元住民も俘虜に対して非常に好意的であったことです。俘虜が多度津港に到着した当日、収容所に向かう道路のあちこちに「心より大いに同情して歓迎します」とドイツ語で書かれた掲示を出して、俘虜を感激させたとのことです。ドイツ兵俘虜に

関する最新の研究成果は、「チンタオ・ドイツ兵俘虜研究会」のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。1917年3月に開かれ



た俘虜製作品展覧会には、2日間で当時の丸亀市の人口をはるかに上回る3万人もの観客が押し掛け、ほぼ完売したと報じられています。この作品の幾つかは、今でも丸亀の旧家に眠っているのではないのでしょうか。

上の写真は、俘虜たちが丸亀から出したクリスマスカードです。4年後の第一次世界大戦勃発100周年を機に、丸亀俘虜収容所が果たした世界史上の役割を検証し、丸亀の特異な歴史の一端を後世に正確に伝えるためにも、このようなドイツ兵俘虜ゆかりの品を収集し、資料館で永久保管して下さるようお願いしたいと思います。収容所があった他の自治体でも同様の取り組みがなされています。今考えると、子供の頃に耳にしたドイツ兵俘虜の話は、後に私が従事することになる学術研究の無意識的な原点であったのかも知れません。

わが家のアイドル

募集



★1歳から3歳までを紹介しします!
★申し込みは、秘書広報課へ24-88000へ



田 坂 結 衣 ちゃん
(H19.5.4生) 今津町

いつも元気なその笑顔でみんなをHappyにしてね!



あき 種 山 侑 南 ちゃん
(H21.3.18生) 飯山町東小川

いつもニコニコ笑顔の愛らしい侑南ちゃんていてね!

花便り 今月の見どころ



市の花「サツキ」(別名サツキツツジ): 旧暦の5月(皐月)に一齐に咲くことから、名前が付いたそうです。たくさん植えて丸亀をサツキのまちにしよう。

